

平成30年度 天王小学校の予定等

日	曜	1月の学校行事等
1	火	(祝)元旦
2	水	冬季休業
3	木	冬季休業
4	金	冬季休業
5	土	冬季休業
6	日	冬季休業
7	月	3学期始業式 安全点検
8	火	給食開始 授業4限 書き初め大会 WEB配信問題 国語
9	水	フッ化物洗口 図書館支援員来校
10	木	のびのびタイム(体育館1・2年) WEB配信問題 算数
11	金	発育測定(2限1・2年 3限3・4年 4限5・6年)
12	土	
13	日	
14	月	(祝)成人の日
15	火	委員会⑭ 書き初め展(～18日) CRT(3・4年 国語 5・6年 社会)
16	水	フッ化物洗口 1日フリー参観日 学校保健委員会 CRT(3・4年 算数 5・6年 理科)
17	木	のびのびタイム(班) おはなしとんとん 図書館支援員来校
18	金	※CRT締切
19	土	
20	日	
21	月	ALT(2限2年3限5年4限6年給食1年)
22	火	6限 4年以上学力向上タイム
23	水	フッ化物洗口
24	木	のびのびタイム(なわとび) 図書館支援員来校
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	豊浦中学校新入生体験入学(午後) ALT(2限3年3限5年4限6年給食2年)
29	火	委員会⑮
30	水	フッ化物洗口
31	木	のびのびタイム(なわとび) 図書館支援員来校(連携会議:市教委)

日	曜	2月の学校行事等
1	金	安全点検 全校朝会
2	土	
3	日	
4	月	ALT(2限4年3限5年4限6年給食3年)
5	火	6限 4年以上学力向上タイム
6	水	フッ化物洗口
7	木	のびのびタイム(体育館3・4年) 新1年生体験入学(幼保:調整中 期日変更の可能性も) 図書館支援員来校
8	金	スキー授業
9	土	
10	日	
11	月	(祝)建国記念の日
12	火	委員会⑯ スキー授業予備日 ALT佐久間アキ(2限1年3限5年4限6年給食6年)
13	水	フッ化物洗口
14	木	学習参観日 学級懇談会 のびのびタイム(班)
15	金	新1年生保護者会 新1年生学習用品販売
16	土	
17	日	
18	月	図書館支援員来校
19	火	6限 4年以上学力向上タイム
20	水	フッ化物洗口
21	木	のびのびタイム(体育館5・6年) おはなしとんとん
22	金	六送会 PTA新旧合同役員会 図書館支援員来校
23	土	
24	日	
25	月	ALT(2限2年3限5年4限6年給食5年)
26	火	委員会⑰
27	水	フッ化物洗口
28	木	のびのびタイム(体育館1・2年)

生活チャレンジ週間

※月曆は、現時点でのものです。急な変更が生じる場合もありますのでご了承ください。

学校だより どんばす

平成30年12月21日 新発田市立天王小学校

「記憶力について」

校長 山田 せい子

11月30日の全校朝会で、記憶力について次のような話をしました。

人は忘れていく生き物です。暗記した20分後には約42%を忘れ、1時間後には56%忘れ、1日後には約74%を忘れと言われています。人はそもそも記憶することが苦手であり、忘れっぽい生き物なのだそうです。

では、どうしたら覚えられるのでしょうか。そうです。

「① 繰り返し学習すると覚えられます。」繰り返し練習すると、忘れなくなります。脳は、小さな成功が大好きで、その成功を積み重ねることで、「もっとやりたい」と思い、新たなやる気につながります。最初は無理をせず、100%達成可能なものを設定し、数回繰り返すようにしましょう。一方で、脳は、「～しなければならない」に拒否反応を示します。「今夜中に必ず終わらせる」というゴールではなく、「〇ページしよう」というような、できるだけ肯定的なものを設定すると良いと言われています。他にも、記憶するポイントをいくつか紹介します。

「② ノートをきれいにまとめる。」大事な要点を自分で整理しながら書いたり、一目見て何のページなのかを分かるようにすると、覚えやすくなります。

「③ リズムで覚える。」九九や外国語活動は、リズムで覚えることができます。

「④ 五感を使って覚える。(手=触覚、目=視覚、口・舌=筋肉・味覚、耳=聴覚、鼻=嗅覚)」

「⑤ 大きな発見・感動があったものは印象に残りやすい。」

脳は筋肉のようなものです。鍛えればどんどん強くなり、記憶力もどんどんアップします。やる気が出ないのも、脳のせい。やる気が出なくてもとりあえず小さな目標を立てて始めてみてください。

そしてもう一つ、睡眠はとっても大切です。人間は寝ている間に記憶を整理すると言われています。脳のためにも身体を休めるためにもしっかりと睡眠をとりましょう。

この日の5限に、また全校の前で話をする機会がありました。このときに、朝の話を覚えているか聞いてみると、スラスラと5つすべて答えてくれました。天王小学校の子どもたちの記憶力は確かです。

明日から16日間の冬休みが始まります。子どもたちにとって、様々な体験や感動があるのではないかと思います。子どもたちにとっても、保護者や地域の皆様にとっても、記憶に残るよい時間を過ごせますように願っております。

どうぞ、よいお年をお迎えください。

- ① くりかえす
- ② ノート
- ③ リズム
- ④ ごかん
- ⑤ かんどう

「冬休みのくらし」について

子どもたちが持ち帰ったお便り「冬休みのくらし」をご覧ください。今回、今までになかった約束を一つ追加いたしました。

それは、**子どもだけで、友だちの家に泊まらない。**という項目です。

先日、中学校区の生活指導担当者の話し合いがありました。その中で、中学生や高校生になると、友だちの家に泊まり隠れて“酒、たばこ等に興じたり、SNSやツイッターなどで知り合った人の家に泊まったりすることを、平気で行ってしまう子が出ていることが話題になりました。つまり、昔のような『お泊まり』が非行を生むきっかけになる恐れがあるのです。

友だちの家に泊まる時には、子どもだけでなく、親御さんも一緒にいてください。そして、部屋でどんなことをしているか気にかけて見守ってください。

(文責：生活指導担当 大沼 洋美)

いじめ見逃しゼロスクール集会 11月30日(金)

今年はいじめ見逃しゼロスクール集会では、職員が演じた2つの劇を糸口に、いじめについてそれぞれの学級で考えてもらいました。

1つ目の劇は、3人の児童が楽しく話をしているところに、もう一人の児童が話に加わろうとしますが、仲間に入れてもらえない場面でした。劇を見てもらった後に感想を聞いてみると、すぐに手が挙がりました。「とてもかわいそうだった」「見ていていやな気持ちでした」などの感想に、みんな共感していました。

2つ目の劇は、1つ目の劇と同じ場面ですが、後から加わった児童が楽しく会話に入れてもらうという設定でした。見ていた児童たちも今度は安心して見ることができました。「今度は、みんなが楽しそうよかった」などの感想を発表してくれました。演じた職員も、演じてみてどうだったか、子どもたちにその気持ちを伝えました。演技だと分かっている、意地悪をする職員がとっても悪い人に思えてきます。

教室に戻ってから、低学年は劇を見ての感想をもう一度確認しながら、友達がいやな思いをしないようにするためにはどうしたらいいのか考えました。中学年や高学年は、これまでの学校生活を振り返りながら、自分はしっかりできているのか確認することができました。

6年生は、前日に豊浦中学校で中学生や同じ学区の6年生と一緒に「仲間外しについて」意見交流をすることができたこともあり、さらに考えを深めることができました。

私たち職員も「いじめはどこにでも起こりうる」「少しのことも見逃さない」「職員間で情報を共有する」など普段から、子どもたちの変化に敏感でありたいと思っています。保護者や地域の方からの情報もとても大切です。最近では、登下校の様子で気になることを、保護者の方や地域の方から連絡していただきました。こういった場合、学校では、子どもたちに話をし情報を集め事実を確認します。その後、全体指導や個別指導、保護者の方への連絡などをさせてもらっています。登下校の様子から、子どもたちの人間関係の問題が分かることも多く、解決に導くことができ助かっています。今後とも、子どもたちを温かく見守るとともに、何か気になることなどありましたら、学校にご連絡願います。



▲ 全校児童の前で、職員が休み時間の様子を演じました。



▲ 各学級で、いじめについての話し合いをしました。

平成30年「小学生による人権標語」入賞作品

気づいてよ かげであの子が 泣いている 6年 AM
だいじょうぶ 気づいたあなたが 救いの手 6年 NY

※11月11日(日)に開催された「しばた人権フェスティバル」で表彰していただきました。

11月の生活指導目標

やさしい 気持ちで 行動しよう

学校では、毎月生活指導目標を決めて全校で取り組んでいます。11月の生活目標は「やさしい気持ちで行動しよう」、指導内容は、次の3つでした。

- ① 廊下を静かに歩く。(特に図書室から音楽室前と2階廊下)
- ② 時と場に応じた行動をする。(ひまわりホールでのすごし方)
- ③ 「ありがとう」などのふわふわ言葉を伝える。

「ありがとう」「すごいね」「いっしょに」のふわふわ言葉の3本の木を廊下に掲示し(右写真)、ふわふわ言葉を言えた、または言ってもらった日に、シールを貼りました。また、チェックカードで1日を振り返り、自己評価しました。ふわふわ言葉は、連鎖していきました。



▲ふわふわ言葉の木にシールを貼りました。どの木も花盛りです。

1 2月の指導内容は、次の3つでした。

- ① 誰とでもあいさつを交わし、「さんづけ」を心がけ、正しい言葉づかいで話す。
- ② 「いじめ」や「仲間はずし」につながるような言動に気をつけ、お互いを思いやり、全校児童が心穏やかに過ごすことができるようにする。
- ③ 「アサーション」(さわやかな自己表現)な表現に心がけ、相手の気持ちを大切にしたい人間関係づくりに努める。

子どもたちには、全校朝会でアサーションについて生活指導担当から次のように説明し、さらに各学級で理解を深め実践につながるよう指導しました。ご家庭でも実践していただくとさらに、子どもたちの理解が深まりますので、参考にしてください。

『アサーションとは』

自分が伝えたいと思ったことが、うまく相手に伝わらず怒らせてしまった。本当は断りたかったのに断れなかった。そんな経験はありませんか？また逆に相手を責めるように感情や意見をぶつけてしまったりすることはないですか？

自己表現の方法には、相手を常に優先し自分のことを後回しにするタイプ(非主張的)、自分のことだけを主張するタイプ(攻撃的)、そのどちらでもなく、まず自分のことを考えるが相手も尊重するタイプ(アサーティブ)という三つのタイプがあるといわれています。

自分の気持ちをうまく伝えることは難しいことですが、相手の気持ちを傷つけないよう、自分の思いや考えなどを確認し、言葉にして伝えるというコミュニケーション技術のことを「アサーション」(爽やかな自己表現)といいます。

例えば、「早くしなさい」と言いたいときは、「私はあなたに急いでほしい」、友達からの誘いに「どうしよう」と思ったときは「私はどうしようか迷っている」などのように、「私は」を主語にして考えることで、自分の気持ちや考え方がはっきりしてきます。

「私は夕飯の支度をするから、洗濯物を取り入れてくれると助かるんだけど。」

「誘ってくれて、ありがとう。明日は用事があって行けないけれど、また誘ってね。」

このように、「相手がどうか」ではなく、相手の気持ちを受け止めつつ、「私がどう思っているか」を伝える言い方をすれば、用事を頼みたいときや誘いを断る場合であっても、相手も受け止めやすく、傷つけることも少ないでしょう。

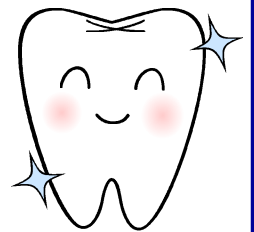
自分がどう思っているのかを素直に伝えると同時に、相手の気持ちを尊重した伝え方を心掛けていくことで、お互いにより深く理解し合うことができるのです。爽やかな自己表現で、自分の権利だけでなく相手の権利も尊重できる、豊かな人間関係をつくりましょう。

平成30年度 第60回「新潟県よい歯の学校・園運動」 優秀校 に選ばれました



県内の小学校464校中、優秀校に選ばれたのは16校でした。11月8日(木)に、新潟県歯科医師会館で表彰式が行われ、賞状と盾をいただきました。

しかし、10月24日(水)に学校で実施した歯科検診の結果では、永久歯の虫歯は少なかったのですが、歯肉炎になっている児童の割合が多かったです。学校でも指導していますが、きれいな歯を保つためにご家庭でもお子さんと一緒に歯磨きをして上手に磨けているかチェックしていただき、必要に応じて仕上げ磨きをしてあげてください。よろしくお願いいたします。



今年もお世話になりました。「じどうしゃくらべ」

昨年に引き続き、1年生の国語の授業「じどうしゃくらべ」の実体験として、福島潟で工事をしている岩村組様にご協力いただき、バックホーやダンプカー、パトロール用の車に試乗させていただきました。子どもたちは大喜びで、たくさん質問も出ました。また、体験で使用したラジコンカーを寄付していただきました。

さらに、福島潟で工事をしている工事関係者の方から、下校時の見守りパトロールにもご協力いただきました。

子どもたちは、天王の地域探検はもちろんのこと新発田市内や近隣の施設や企業を訪問し、学校だけでは得ることができない発見や感動をたくさんもらい、その度に成長していきます。訪問先の皆さんは、子どもたちのために親切な対応で親身になって答えてくださいます。本当にありがとうございます。

